

2025年3月14日

事業者向け特設サイト「企業のための保険ナビ」を開設

～「中小企業におけるリスク意識・対策実態調査 2024」を公表～

一般社団法人 日本損害保険協会(会長：城田 宏明)は、事業活動に潜むリスクや保険等に関する情報を一元化して提供することを目的に、従来の事業者向け特設サイトおよびサイバー保険特設サイトを統合リニューアルし、特設サイト「企業のための保険ナビ」を新設しました。

■特設サイト「企業のための保険ナビ」：https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/

同サイトでは、事業活動に潜む6大リスクとリスクに備える損害保険のほか、企業向け損害保険の取扱い保険会社を紹介するとともに、近年注目度が上昇しているサイバーリスク・サイバー保険についての特集ページを設けています。

また、新たなサイトコンテンツとして、自社を取り巻くリスクを事業者に自分事として捉えていただき、備えの必要性を認識いただくため、自社のリスクを確認できる診断コンテンツ「6大リスク診断」をサイト内に設置しました。



あわせて、2021年度から引き続き、中小企業の経営者と従業員1,050名を対象に、企業を取り巻くリスクに対する意識・対策実態調査を行い、特設サイト内に調査報告書を掲載しています。本調査は、多様化・複雑化するリスクに対する中小企業の意識、実際の被害内容や被害額、損害保険への加入状況などについて調査したものです。

■中小企業におけるリスク意識・対策実態調査 2024 調査報告書：

https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/assets/pdf/sme_report2024.pdf

＜調査結果の主なポイント＞ ※各ポイントの解説は別紙をご覧ください。

1. 中小企業の4社に1社が何らかのリスクによる被害を受けており、実際に被害にあった企業の約半数(47.8%)が「リスクに対する備えが不足していた」と回答。
2. リスク対策としては、「損害保険への加入」が60.8%で最多。以下、「貯蓄(17.2%)」「共済への加入(13.1%)」「BCPの申請等(10.0%)」と続く。
3. 損害保険で備えたいリスクは、「自然災害(41.2%)」が最多であるが、近年は「サイバーリスク(32.8%)」への注目度が上昇傾向。

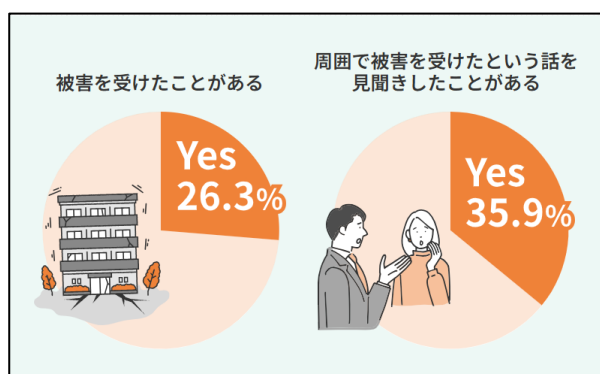
当協会では、事業者のリスク意識の向上や企業向け損害保険の普及促進に関する各種取り組みを引き続き実施してまいります。

＜「中小企業におけるリスク意識・対策実態調査 2024」の概要＞

- ・調査報告書 URL : https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/assets/pdf/sme_report2024.pdf
- ・調査期間 : 2024 年 11 月 18 日 (月) ~ 21 日 (木)
- ・調査方法 : インターネット調査
- ・調査対象 : 中小企業の経営者および従業員
 ＜条件＞損害保険契約関係者 (決定権あり/選定関与)
- ・サンプル数 : 1,050 サンプル

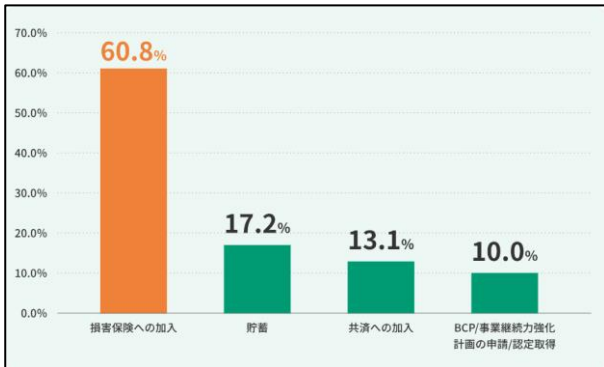
1. 中小企業の 4 社に 1 社が何らかのリスクによる被害を受けており、**実際に被害にあった企業の約半数 (47.8%) が「リスクに対する備えが不足していた」と回答**

- ・全体の 26.3% が、勤め先の企業が「何らかのリスクによる被害を受けたことがある」、全体の 35.9% が「周囲で被害を見聞きしたことがある」と回答しています。
- ・被害に遭った際の企業の考えとしては、「リスクに対する備えが不足していたと思う」(47.8%)、「被害額がこんなにも高くなると考えていなかった」(47.5%) が半数弱で特に高く、リスクを認識し、万が一の被害に備えることの重要性がうかがえます。



2. リスク対策としては、「**損害保険への加入**」が **60.8% で最多**。以下「貯蓄 (17.2%)」「共済への加入 (13.1%)」「BCP の申請等 (10.0%)」と続く

- ・リスク対策としては、「損害保険への加入」が 6 割を占めており、以下「貯蓄 (17.2%)」「共済への加入 (13.1%)」「BCP の申請等 (10.0%)」と続いています。特に「勤務中や移動中における損害賠償」「自然災害」「製造物に関する損害賠償」は「損害保険への加入」によって対策している割合が高くなっています。
- ・実際に被害にあった企業においても、約半数 (48.9%) が取るべき対策として、「損害保険への加入」と回答しており、備えとしての損害保険の有用性がうかがえます。



3. 損害保険で備えたいリスクは、「自然災害 (41.2%)」が最多であるが、近年は「サイバーリスク (32.8%)」への注目度が上昇傾向

- ・損害保険で備えたいリスクは、「自然災害」が41.2%で最も高く、以下「サイバーリスク (32.8%)」、「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少 (25.7%)」と続いています。
- ・「サイバーリスク」は例年1割半ば程度であるところ、今年は3割強で大幅に増加しています。また、事業活動を行ううえで「サイバーリスク」を認識している企業が43.2%と前年度から20%以上増加していることから、「サイバーリスク」の注目度が上昇していることがうかがえます。注目度が上昇している要因としては、2024年6月に立て続けにサイバー攻撃が起こったことなどが考えられます。



<まとめ>

近年、事業者を取り巻くリスクは多様化しています。中小企業の約8割(79.0%)が事業活動を行う中で何らかのリスクを認識しており、その中でも「自然災害」「サイバーリスク」へのリスク認識や損害保険への加入意向が高い結果となっています。

一方で、損害保険の加入率は、「火災保険」は6割強(64.6%)、その他の保険は4割未満に留まっています。損害保険に加入しない理由としては、「リスクが発生する可能性は低いと考えているため(33.4%)」が最多です。

しかしながら、中小企業の4社に1社が何らかのリスクによる被害を受けており、実際に被害に遭った企業の約半数(47.8%)は、「リスクに対する備えが不足していたと思う」と回答しているため、リスクを自分事として捉え、万が一の被害に備えることが重要です。

身近に潜むリスクやリスクへの備えとしての保険を知るために、一度、保険会社・損害保険代理店に相談してみてもはいかがでしょうか。